令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町村名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現状の 数値	単 位	本年 度の 目標 値	本年 度の 実績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
06207上山 市	①学校運営上 の課題	01 教職員の 時間外勤務の 是正	市内の小学校教員の1%超が、月60時間以上の時間外勤務を行っており、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。	・市内全小学校に地域コーディネーターを3名配置。全員を年間200日以上配置し、常駐化した。(前年度常駐化1名→令和5年度3名) ・常駐する地域コーディネーターは学校と地域の連絡調整等を担い、教員の業務負担軽減を図った。	・市内全小中学校7校に地域コーディネーター3名を配置してカバーする。全員を年間200日以上配置する。 ・地域コーディネーターは学校と地域の連絡調整等を担い、教員の業務負担軽減を図る。	学校・家庭・地域の役割分担の明確化により、地域との協働が進み、教員の業務負担が軽減する。	小学校教員の時間外在校時間	26時間13分	時間	26時間	27時間4分	これまで学校教員が担ってきた地域ボランティアの方、教職員との連絡調整を担い、教員の負担軽減をしつつ、体験学習を始めとした学習内容の質の向上を図ることができた。 学校運営協議会の開催にあたり、地域学校協働活動推進員は当該校長の指示のもと、資料作成準備や熟議の企画を行うだけでなく、委員が意見を出しやすい会議となるよう日頃から委員の方々とのよりよい関係を築き、学校を核としたつながりを持つ機会となった。 実績については目標値には及ばなかったが、在校平均時間30時間以下の教員が4.5ポイント増加したことは大きい。一方で一部職員の業務負担が大きくなり平均在校時間の数値が押し上げられたことは課題となった。	https://www.city.kaminoyama.yamagata.jp

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。